

ノマディック・ルーフを港湾緑地へ

—構想から完成まで—

2019年6月7日～16日に、横浜・象の鼻テラスで開催された「フューチャー・スケープ・プロジェクト」。これに、JIA神奈川の若手建築家を中心となり、ロフト付可動式テント「ノマディック・ルーフ」を出展しました。その取り組みについて、3回にわたってお伝えしています。



JIA 神奈川
若手建築家
+ 法人協力会
プロジェクトリーダー
小山将史

今回は、第2章として「ノマディック・ルーフ」完成までの経緯をお話したいと思います。

スタートは昨年1月でした。まずはJIA神奈川の若手建築家でチームを組みました。メンバーは山口賢、清水智津子、山下祐平、井上玄、私の5名でスタートしました。

半年と期間も短いため、象の鼻パークにあったら良いと思うものは何か、単純に考えてみました。せっかくの海岸なのに、海に近いところに日除げがないことに気づき、東屋のようなスペースがあったら良いという話になりました。一方で、象の鼻パークは港湾緑地でもあるので、固定せずに建築化できる方法も必要でした。そこで、移動可能な大屋根をつくることになりました。

そんな中、たまたま、私が大学3年生の時に、内藤廣さんの授業で「ノマディック・シェルター」という課題があり、その時に作った案が今回活用できるのではと思い、チームと役員会で提案したところ、賛同いただいたので、この案をベースに具体化を進めました。

それから急いで図面化し、ざっと試算すると、数百万円はかかることがわかりました。実は今回の一番の問題は予算がないこと。本当にゼロからのスタートです。そこで、まずはJIA神奈川の法人協力会の方々をはじめ、今回の案に対して賛同してくれそうな企業の方々に、支援を求める活動をしました。途中、調整はかなり大変でしたが(涙)、皆さんに快くご対応いただき、何とか予算も目処が付きました。足りない分は、時間的に準備不足ながらクラウドファンディングにも挑戦し、有志の方々より多くのご支援をいただくことができました。

予算調整と並行して役所協議も発生しました。展示物ではなく仮設建築物ではないかという指摘もありましたが、ノマディック・ルーフの大きさを調整して許可申請不要の範囲となり、法的な問題はクリアしました。



ノマディック・ルーフ施工の様子

あとはよいよ制作です。実は、予算調整と役所協議の関係で、施工をスタートできたのが展示1～2週間前



というタイトな日程となってしまいましたが、それでも、皆さんの迅速かつ正確な制作により、何とか無事に間に合い、展示前日に建て方を行うことができました。

そして、6月7日から10日間の展示が始まりました。会期中、さまざまな方々にノマディック・ルーフを見ていただき、一般の方々には日本建築家協会の存在を知っていただく機会になったと思います。

今回、チームの誰一人欠けても完成しなかったプロジェクトだったので、完成した時は、安堵というより、ご協力いただいた皆さんへの感謝の気持ちでいっぱい、目頭が熱くなったのを今でも覚えています。その感謝の気持ちも込めて、このプロジェクトにご賛同いただき、ご協力いただいた当会法人協力会の有志の方々と協賛団体・協賛企業の方々をご紹介します。本当にありがとうございました！

●本プロジェクトにご協力いただいた皆さま ※五十音順(敬称略)
社名と協力・提供いただいた内容をご紹介します。

(JIA神奈川の法人協力会有志の皆さま)

- ◎石井造園：盆栽、コーヒー販売、園芸相談会、クラウドファンディング特典「盆栽ワークショップ」
- ◎エフワンエヌ：解体作業、当日対応等
- ◎江間忠木材：ノマディック・ルーフのロフトの材料
- ◎カンディハウス：当日対応等
- ◎キクシマ：ノマディック・ルーフの金物
- ◎協進印刷：クラウドファンディングへのアドバイス、PRパネル製作等
- ◎高島屋スペースクリエイツ：協力先の紹介、当日対応等
- ◎DNライティング：ノマディック・ルーフの照明
- ◎時久商事：ノマディック・ルーフのウエイト
- ◎ピアレックス・テクノロジーズ：光触媒コートと当日対応等
- ◎星通商：協力先の紹介

(協賛団体・協賛企業)

- ◎えねこや：えねこや屋台の貸し出し
- ◎菊池建設：ノマディック・ルーフの本体施工
- ◎太陽工業：ノマディック・ルーフのテント幕生地(縫製はクイックスエンジニアリング)
- ◎ナイス：ノマディック・ルーフの構造木材
- ◎富士：机と椅子を貸し出し
- ◎フレームワークス：構造設計
- ◎麺屋翔：クラウドファンディング特典「炊き出しラーメン」